



アジア3R協力の最近の動向について

中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会
国際循環型社会形成と環境保全に関する専門委員会

2008年4月16日
経済産業省



持続可能なアジア循環型経済社会圏構築に向けた施策展開

アジア諸国における循環型経済の構築に向けて、適切なリサイクル等の取組が促進されるよう、

①政策対話、②廃棄物・3R分野の人材育成のための協力事業等を実施。

①政策対話

2004年9月2日より、経済産業省と国家発展改革委員会環境資源総合利用司との対話を開始。

2007年6月27日、北京で第2回の対話を開催。

【主な議題】

- 日中の循環型経済社会形成に向けた政策全般
- 廃電気電子機器のリサイクル
- 製品含有有害物質規制
- 循環型都市に関する協力
- 循環資源の輸出入規制
- 3R関連の基準認証



第2回対話で組合せに同意した北九州市－青島市間での協力の開始について、本年9月27日、第2回日中省エネ・環境総合フォーラムにおいて、両市が合意文書に調印。

【GAP政策対話】

エネルギー環境分野において、政策対話を通じて共通認識を醸成した上で、各国の実情に応じた制度構築等を行うとともに、我が国の技術やノウハウの普及を図ることによって相互の利益に貢献する協力事業を実施する。

※最近の内容

- タイ
廃蛍光灯のリサイクルシステム構築に協力
- フィリピン
リサイクル産業振興に協力
- インドネシア
日本の3R政策について説明
- マレーシア
廃プラスチックのリサイクルに協力

②廃棄物・3R分野の人材育成への支援

アジア諸国(中国、ASEAN等)の官民の専門家に対して、国際協力機構(JICA)・海外技術者研修協会(AOTS)等を通じて日本のリサイクル政策・法制度の研修や、リサイクル施設の視察等を行う。

2007年度実績: 248名(うち中国122名、ほかタイ、フィリピン、ベトナム、インドネシア、マレーシア等)

アジアにおける3R協力の実績

- 各国とも増加する廃棄物の適正処理が優先課題となっており、3Rに関しては、法制度等の構築の検討が始まったところ。現在は人材育成ツール等を使った我が国政策についての研修が中心。
- 協力の実施にあたっては、GAP政策対話を通じて、相手国と協議。(中国との間では個別に3R政策対話を実施。)

【タイ】

- ・リサイクル制度導入協力プログラム(JETRO事業)(04年度)
- ・廃家電製品(特定品目)リサイクル制度構築支援事業(05年度)

【マレーシア】

- ・リサイクル制度構築支援事業(JETRO)(06年度)
- ・環境保全研修コース(AOTS)

【インドネシア】

- ・政府高官3R研修・視察ミッション招聘事業(JETRO)(06年度)

【中国】

- 中央・地方政府職員を受入れ、JICA等による我が国3R政策等についての研修を実施(2007年度:122名)

【ベトナム】

- ハノイ市3Rイニシアティブ活性化支援プロジェクト(JICA)(06~09年度)

【フィリピン】

- ・リサイクル産業振興計画調査(JICA)(06~07年度)

日中循環型都市協力

- 2006年12月、日中循環型都市に関する協力の実施について、閣僚級合意。
- 我が国がエコタウン整備を通じて蓄積した、再生資源を最大限に有効利用するリサイクル設備等の整備に関するノウハウについて、地域間交流を通じた人材育成等により移転。
- 2007年6月の3R政策対話において北九州市－青島市、兵庫県－広東省間で協力を進めることとされた。
 - ・北九州市－青島市については、2007年9月より事業を開始。2008年2月に成果報告会を開催。
 - ・兵庫県－広東省についても、2007年12月以降、協力の具体化に向けた調査を開始。

